

こだま Q&A

Q45

『総合報告書』を2部いただき、そのうち1部を患者さんに渡していますが、他に患者さんに検査報告書をお渡しする方法はありませんか。

A45

『総合報告書』の掲載項目を患者さんにお渡しできるよう、当検査センターでは“患者渡し報告書”を2種類用意しております。

1種類はA4サイズで検査内容の説明が掲載された報告書です（図1）。もう1種類はA5サイズで薄オレンジ色の報告書です（図2）。

図1



図2

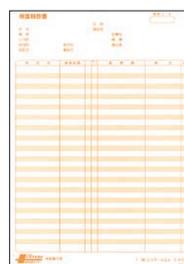


図2の報告書は、『総合報告書』に掲載されている項目で、なおかつ図1の報告書に掲載された項目以外の検査項目が掲載されます。（*ご依頼検査項目のみ）

この2種類の報告書により、『総合報告書』と同様の項目が報告されます。

『総合報告書』は医療機関様で保存していただき、“患者渡し報告書”2種類を患者さんへお渡しいただければよいと思います。

お問合せ：☎代表 0120-14-7191(フリーダイヤル) / 082-247-7191(ダイヤルイン)

きやつちボール

今月号の“検査室発”記事では「血液培養検査【前編】」と題し、患者さんから真の原因菌を検出するためのポイントについてお届けしました。今回血液培養検査を取り扱ったのは、平成26年度診療報酬改定に伴い血液培養（細菌検査）算定が変更されたことと、当検査センターホームページ検索キーワードに含まれていたこと、そして何より、当該記事を担当した山本が血液培養検査にしようと思っただけでなく、声をかけたことにあります。

次号【後編】では、当検査センターにおける検査方法（検査機器の紹介を含む）や検査の流れ、また、この1年間の検出菌状況などを掲載する予定です。

今回の記事を通じ、これまで以上に血液培養検査を身近に感じていただけたら幸いです。

前 かをり（検査科原価管理担当科長 兼 細菌係・滅菌係係長）

広報委員

谷敷 圭美 / 亀石 猛 / 熊川 良則 / 片山 智恵子 / 初岡 博 / 高磨 潤